

令和4年度9月補正予算案の概要

1 予算編成方針

原油や穀物等の価格高騰による課題や、新型コロナウイルス感染症の影響による様々な課題に迅速かつ適切に対処するため、「原油価格・物価高騰対策」や「新型コロナウイルス感染症対策」を切れ目なく実施する。

また、首脳会議の開催支援や広島の魅力発信、歓迎機運の醸成等、2023年の開催に向けて、「広島サミットの推進」の取組を実施する。

さらに、6月補正予算編成後の状況変化等を踏まえ、必要性が認められる取組を時機を逃さず実施する。

2 予算規模

(1) 原油価格・物価高騰対策	7,034百万円 [うち一般会計 6,609百万円]
(2) 新型コロナウイルス感染症対策	22,518百万円 [再掲を含み基金積立を除く実質事業費]
(3) 広島サミットの推進	7,316百万円 [再掲を含む]
(4) その他	8,019百万円 [再掲を含み基金積立を除く実質事業費]
合計 (再掲を除き基金積立を含む)	47,750百万円

3 主な事業の内容

(1) 原油価格・物価高騰対策

事業費 7,034百万円

- 「原油価格・物価高騰対策」については、
 - ・ 生活者支援の面から原油価格高騰に伴う価格転嫁を抑制すべき業種
 - ・ 著しく原油価格・物価高騰の影響を受けている業種などに係る事業者等を対象
- また、その実効性を高めるため、次の両面から支援
 - ・ 直面する課題への対処として、「物価高騰による影響の緩和」
 - ・ 将来にわたって対策効果を持続させるための方策として、エネルギーコストの節減に向けた「ネットゼロカーボン等の取組の後押し」

※ 百万円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

【参考】コロナ禍における原油価格・物価高騰対策の概要

〔対策の進め方〕

- 「原油価格・物価高騰対策」の実効性を高めるため、次の両面から事業者等を支援
 - ・ 直面する課題への対処として、「物価高騰による影響の緩和」
 - ・ 将来にわたって対策効果を持続させるための方策として、エネルギーコストの節減に向けた「ネットゼロカーボン等の取組の後押し」
- 実施に当たっては、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を最大限活用

支援対象	対策区分	○ 原油や穀物等の価格高騰による課題への緊急かつ機動的な対処 【6月補正予算・主なもの】	○ 継続又は悪化している原油や穀物等の価格高騰による課題への切れ目ない対処 【9月補正予算(案)・主なもの】
○ 生活者支援の面から原油価格高騰に伴う価格転嫁を抑制すべき業種 【交通事業者】	物価高騰影響緩和	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通事業者への燃油費高騰に対する支援等(4～9月分) ・ 航空会社等への航空ネットワーク維持に対する支援(4～9月分) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>継続</u>公共交通事業者への燃油高騰に対する支援(10～3月分) ・ <u>継続</u>航空会社等への航空ネットワーク維持に対する支援(10～3月分) ・ <u>新規</u>復便路線に対する復便に要する経費に対する支援
	ネットゼロカーボン等の取組支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通事業者への省エネ化・デジタル化等に対する支援 ・ 貸切バス, 旅客船事業者への省エネ化等に対する支援 	(⇒対策期間中) (⇒対策期間中)

<p>○ 原油価格高騰の影響を強く受ける燃料多消費型の業種</p> <p>【運輸事業者】</p>	<p>ネットゼロカーボン等の取組支援</p>	<p>・トラック事業者への環境対応車・エコタイヤ導入等に対する支援 など</p>	<p>(⇒対策期間中)</p>
<p>○ 飼料, 肥料原料の著しい価格高騰の影響を受ける業種</p> <p>【農林水産事業者】</p>	<p>物価高騰影響緩和</p>	<p>・畜産経営体への配合飼料価格高騰に対する支援</p>	<p>・拡充畜産経営体への配合飼料価格高騰に対する支援</p> <p>・新規施設園芸農業者へのLPガス価格高騰に対する支援</p> <p>・新規鳥獣害対策に取り組む農業者への侵入防止柵設置に対する支援</p> <p>・新規漁業者への燃料価格高騰に対する支援</p>
<p>○ コロナ禍で経済的に厳しい環境に置かれていた中で, 原油価格・物価高騰に直面している業種</p> <p>【その他】</p>	<p>ネットゼロカーボン等の取組支援</p>	<p>・施設園芸農業者への省エネ機器導入に対する支援</p>	<p>・拡充施設園芸農業者への省エネ機器導入に対する支援</p>
	<p>物価高騰影響緩和</p>	<p>・県産酒類を活用した観光誘客促進</p> <p>・県立施設, 県立・私立学校への光熱水費高騰対策(4~9月分)</p> <p>・県立・私立学校の給食費等負担軽減</p>	<p>(⇒対策期間中)</p> <p>・継続県立施設, 県立・私立学校への光熱水費高騰対策(10~3月分)</p> <p>(⇒対策期間中)</p> <p>・新規県産品の魅力発信</p>
	<p>ネットゼロカーボン等の取組支援</p>	<p>・中小事業者への省エネ機器導入に対する支援</p> <p>・経営革新に取り組む事業者への設備投資等に対する支援</p>	<p>・新規中小事業者への市町協調支援</p> <p>・新規県内企業への再エネ, 省エネのための設備投資に対する支援</p> <p>・新規県内観光関連事業者へのデジタル化, ユニバーサル化, 省エネ化支援</p> <p>・新規飲食事業者へのデジタル化, トイレ洋式化等支援</p> <p>・新規県内企業のBCP対策拡充支援</p>

ア 物価高騰による影響の緩和		3,428百万円
(ア) 事業者への支援		
○ 配合飼料価格高騰に対する支援		1,922百万円
配合飼料価格の高騰による畜産経営体への影響を緩和するため、配合飼料の購入金額の一部を支援		
○ 施設園芸農業者への支援		32百万円
燃料価格高騰による施設園芸農業者への影響を緩和するため、LPガスに係る燃料費負担の一部を支援		
○ 鳥獣害対策に取り組む農業者への支援		20百万円
資材価格高騰による農業者における鳥獣害対策への影響を緩和するため、侵入防止柵の設置に係る資材購入に必要な経費の一部を支援		
○ 漁業者への支援		98百万円
燃料価格高騰による漁業経営への影響を緩和するため、燃料費負担の一部を支援		
○ 農業経営体への事業継続支援		[債務][20百万円]
原油や資材価格の高騰等による影響を受けた農業経営体が行う経営改善等の取組に資する融資に対する利子補給を実施		1百万円
○ 県産品の魅力の発信		60百万円
広島サミット開催に向け、県産品の魅力を発信するため、国内各地で県産品の展示・即売会を開催		
(イ) 交通事業者への支援		
○ 公共交通事業者への支援		227百万円
燃油費高騰により厳しい経営状況にある公共交通事業者に対し、燃油費高騰分に係る影響額の一部を継続支援		

※ 百万円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

○ 広島空港の航空ネットワークの維持及び復便に向けた支援 コロナ禍における旅客需要激減の長期化や物価高騰等の影響を受けている航空ネットワークの維持及び国際定期路線の早期復便を後押しするため、航空会社等に対して必要な経費の一部を支援	126百万円
(ウ) 県立施設, 県立・私立学校における物価高騰対策	
○ 県立施設における対策(庁舎, 県立学校, 指定管理施設等) 燃料価格高騰を背景に、指定管理施設を含む県立施設において高騰している光熱水費の価格上昇分を増額 【一般会計】 【特別会計】港湾特別整備事業費特別会計 【企業会計】病院事業会計等 4会計	768百万円 343百万円 1百万円 425百万円
○ 私立学校電気料金高騰対策 私立学校における電気料金高騰に対する負担軽減を図るため、価格上昇分を学校法人へ補助	174百万円

イ ネットゼロカーボン等の取組の後押し	3,606百万円
(ア) 事業者への支援	
○ 県内事業者の設備投資の促進 県内企業における再生可能エネルギー設備の導入、省エネや生産性向上のための設備投資を支援	2,000百万円
○ 飲食事業者への支援 感染拡大防止と経済活動の両立へ向けた取組やインバウンド観光客の受入環境整備など飲食事業者が取り組む前向きな事業に対して補助を実施	340百万円
○ 地域の実情に応じた中小事業者への支援 原油価格・物価高騰の影響を受けた中小事業者に対し、地域の実情に応じた対策を実施するため、市町と連携し、支援を実施	600百万円

※ 百万円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

○ 中小事業者の事業継続計画策定に対する支援 自然災害や新型コロナウイルス感染症に加え、原油価格・物価高騰の影響や電力ひっ迫に係る計画停電等の事象による影響に備えたBCP(事業継続計画)の策定支援を実施	16百万円
○ 観光関連事業者における受入環境整備への支援 広島サミットやインバウンドの回復等を見据えた観光関連事業者が行う受入環境整備を支援	550百万円
○ 施設園芸産地における省エネルギー機器等の導入支援 省エネルギー化を進めるため、施設園芸産地において必要な機器等の導入を支援	100百万円

(2) 新型コロナウイルス感染症対策

事業費 22,518百万円

[再掲を含み基金積立を除く実質事業費]

- 感染拡大防止と社会経済活動の両立を図ることができるよう、
 - ・ 引き続き、PCR検査体制の確保等の感染拡大防止対策を実施するとともに、
 - ・ 医療機関や宿泊療養施設における受入体制や重症化リスクの低い軽症・無症状患者が安心して療養できる体制等を確保
 - ・ また、アフターコロナを見据え、経済の発展的回復に向けた取組を実施

ア 感染拡大防止対策	5,895百万円
○ PCR検査体制の確保 行政検査に必要な試薬の購入や検査機関の設備整備、PCRセンター等の継続的な設置・運営などを実施 【新型コロナウイルス感染症対策基金充当】	2,683百万円
○ 新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口設置 保健所機能の維持・強化を図るため、相談窓口の設置等を継続するとともに、積極的疫学調査の体制を維持	147百万円

※ 百万円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

○ 自宅療養者等の健康観察フォローアップ 保健所の業務負担軽減を図りつつ、自宅療養者等に対する健康観察体制を確保するため、自宅療養者等の健康観察業務等の民間事業者への委託を継続して実施	885百万円
○ 飲食店における感染防止対策 「広島積極ガード店ゴールド」の認証や質の担保のための実地調査を継続して実施	40百万円
○ ワクチン接種体制の整備 医療機関・高齢者施設等の従事者へのワクチンの4回目接種やオミクロン株対応ワクチンの追加接種を促進するため、接種費用への加算等の支援を実施	2,139百万円

イ 医療提供体制の確保	15,517百万円
○ 病床の確保 新型コロナウイルス感染症患者の入院病床を確保するための空床補償として、医療機関に対し必要な経費を継続して支援	7,839百万円
○ 宿泊療養施設の確保 陽性無症状患者及び軽症者が安静・療養可能な受入施設を確保するための宿泊施設を継続して借上・運営	6,819百万円
○ 患者搬送体制の整備 新型コロナウイルス感染症軽症患者等の搬送業務の民間事業者への委託を継続して実施	357百万円
○ 医療提供体制の確保 入院・自宅療養者等の医療費の自己負担分について、継続して支援	502百万円

※ 百万円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

ウ 経済の発展的回復		1,107百万円
○ 地域の魅力の発信		[債務][20百万円]
広島サミット開催に向け、本県の多様な魅力について、今後の誘客促進につなげるため、国内外へ情報発信を実施		157百万円
○ 飲食事業者への支援(再掲)		340百万円
感染拡大防止と経済活動の両立へ向けた取組やインバウンド観光客の受入環境整備など飲食事業者が取り組む前向きな事業に対して補助を実施		
○ 県産品の魅力の発信(再掲)		60百万円
広島サミット開催に向け、県産品の魅力を発信するため、国内各地で県産品の展示・即売会を開催		
○ 観光関連事業者における受入環境整備への支援(再掲)		550百万円
広島サミットやインバウンドの回復等を見据えた観光関連事業者が行う受入環境整備を支援		

エ その他		4百万円
○ 新型コロナウイルス感染症対策基金への積立		4百万円
新型コロナウイルス感染症に関して受領した寄附金を「新型コロナウイルス感染症対策基金」へ積立		[基金積立]

※ 百万円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

(3) 広島サミットの推進

事業費 7,316百万円

[再掲を含む]

- 2023年の広島サミットの開催に支障を来さぬよう、準備に要する期間を考慮の上で、必要な予算を計上

ア 安全・安心で円滑なサミット開催支援		5,592百万円
○ 防災・危機管理対策の推進		7百万円
「広島サミット防災・危機管理県・市調整会議」等を設置し、関係機関と連携して、消防特別警戒などに取り組むとともに、災害情報の収集に活用するデジタル機器の強化を実施		
○ 広島サミット開催に伴う公共土木施設の環境整備		4,585百万円
広島サミット開催に向けて、関係者等が安全・安心に通行できることを目的とした、会場周辺やアクセス路の環境整備や、サミットを契機とした県内各地への訪問を見据えた周辺道路・河川の補修・除草等を実施		
○ 広島サミットに係る警備の徹底		[債務][134百万円]
国内外の要人警護を含めた警察警備の万全を期するため、部隊運用等に必要な警備資機材整備等、諸対策を実施		1,000百万円

※ 百万円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

イ おもてなし	1,319百万円
○ 国内外報道関係者の受入環境整備 国際メディアセンターの候補施設である広島県立総合体育館のトイレの改修や照明機器のLED化等を実施	343百万円
○ 自然公園等施設の整備 広島サミットでの利用が想定される自然公園等施設について、来園者が魅力を堪能し、その魅力を国内外に発信してもらえるよう、景観向上のための整備等を実施	[債務][43百万円] 74百万円
○ 名勝縮景園の庭園整備 広島サミットでの利用が想定される縮景園について、来園者が魅力を堪能し、その魅力を国内外に発信してもらえるよう、庭園整備を実施	12百万円
○ 飲食事業者への支援(再掲) 感染拡大防止と経済活動の両立へ向けた取組やインバウンド観光客の受入環境整備など飲食事業者が取り組む前向きな事業に対して補助を実施	340百万円
○ 観光関連事業者における受入環境整備への支援(再掲) 広島サミットやインバウンドの回復等を見据えた観光関連事業者が行う受入環境整備を支援	550百万円

※ 百万円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

ウ 広島の魅力の発信		399百万円
○ 食の魅力の発信		[債務][70百万円]
食の磨き上げや県内ホテル等での県産農林水産物の提供に向けたマッチング、情報発信等を実施		182百万円
○ 地域の魅力の発信(再掲)		[債務][20百万円]
広島サミット開催に向け、本県の多様な魅力について、今後の誘客促進につなげるため、国内外へ情報発信を実施		157百万円
○ 県産品の魅力の発信(再掲)		60百万円
広島サミット開催に向け、県産品の魅力を発信するため、国内各地で県産品の展示・即売会を開催		

エ 若者の参画		7百万円
○ 県立図書館広島サミット応援事業		7百万円
県内の児童生徒のサミットに対する興味・関心を促すため、サミットのテーマとなる様々な分野や参加国に関する図書を整備した特設コーナーの開設等を実施		

※ 百万円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

(4) その他

事業費 8,019百万円

[再掲を含み基金積立を除く実質事業費]

○ 県内中学生への英語教育の改善 英語4技能(聞く, 読む, 話す, 書く)のうち, 本県において特に課題となっている「話すこと」に関する英語教育の改善を図るため, スピーキングテストの予備調査等を実施	19百万円
○ 指定海域における栄養塩類に係る基礎調査 指定した海域において, 栄養塩類の増加と水産資源回復の関連性を確認するための実証試験に向けての基礎調査を実施	20百万円
○ 自転車の活用の推進及び安全で適正な利用の促進 自転車の活用の推進や安全で適正な利用の促進, 保険加入などについて, 県民に広く周知するための広報活動を実施	5百万円
○ 財政調整基金への積立 地方財政法に基づき, 令和3年度決算剰余金の一部を財政調整基金へ積立	6,900百万円 [基金積立]
○ 減債基金への積立 令和3年度の県税収入の増に伴う普通交付税精算分として減債基金へ積立	2,600百万円 [基金積立]
○ 公共事業 ・国の内示増を踏まえた予算整理等 補助公共事業等において, 当初予算を上回る国からの内示等があったものについて予算整理を実施	7,975百万円 3,390百万円
・広島サミット開催に伴う公共土木施設の環境整備(再掲)	4,585百万円

※ 百万円未満を四捨五入しているため, 合計が一致しない場合がある。

4 補正予算の規模

(1) 会計別の状況

(単位:百万円, %)

区 分	現計予算額 A	9月補正額 B	累計額 C(A+B)	対現計予算比		(参考) 令和3年度 9月補正額
				C/A	対前年同期比	
一 般 会 計	1,179,250	47,324	1,226,574	104.0	92.7	87,306
一 般 事 業	825,194	39,349	864,544	104.8	92.4	43,463
職 員 給 与	227,185	0	227,185	100.0	99.2	0
公 共 事 業	126,871	7,975	134,846	106.3	84.9	43,843
特 別 会 計	539,366	1	539,367	100.0	102.5	0
企 業 会 計	72,003	425	72,428	100.6	89.0	0
合 計	1,790,619	47,750	1,838,369	102.7	95.2	87,306

(2) 公共事業の状況

(単位:百万円, %)

区 分	現計予算額 A	9月補正額 B	累計額 C(A+B)	対現計予算比		(参考) 令和3年度 9月補正	
				C/A	対前年同期比		
一 般 会 計	補 助 事 業	54,806	3,242	58,048	105.9	104.6	4,263
	直 轄 事 業	12,157	148	12,305	101.2	85.9	323
	計	66,963	3,390	70,353	105.1	100.8	4,586
	単 独 事 業	31,734	4,585	36,319	114.4	89.2	10,495
	災 害 復 旧 事 業	28,174	0	28,174	100.0	58.5	28,762
合 計	126,871	7,975	134,846	106.3	84.9	43,843	
特 別 会 計	県 営 住 宅 事 業 費	2,964	0	2,964	100.0	148.9	0
合 計	129,835	7,975	137,810	106.1	85.7	43,843	

(3) 債務負担行為

計287百万円

【一般会計】

- 公園施設維持修繕事業 43百万円
- 広島サミットに向けた地域の魅力発信事業 20百万円
- 農業近代化資金の融資に対する利子補給 20百万円
- 広島サミットを契機とした県産農林水産物魅力発信事業 70百万円
- 広島サミット警備運営費 26百万円
- 広島サミット警備警察装備費 99百万円
- 広島サミット警備一般管理費 1百万円
- 広島サミット警備犯罪捜査活動費 8百万円

(4) 繰越明許費

計5,362百万円

- 一般会計 5,362百万円
(企業立地対策費ほか8事業)

※ 百万円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

5 一般会計の状況(款別内訳)

(単位：百万円, %)

区 分		現計予算額	9月補正額	累計額	構成比
入	県 税	340,294	0	340,294	27.8
	地方消費税清算金	125,099	0	125,099	10.2
	地方譲与税	52,023	0	52,023	4.2
	地方特例交付金	1,357	0	1,357	0.1
	地方交付税	185,006	0	185,006	15.1
	交通安全対策特別交付金	500	0	500	0.0
	分担金及び負担金	6,559	69	6,628	0.5
	使用料及び手数料	9,696	0	9,696	0.8
	国庫支出金	198,021	27,909	225,929	18.4
	財産収入	1,204	0	1,204	0.1
	寄附金	103	4	107	0.0
	繰入金	54,040	327	54,367	4.5
	繰越金	0	13,709	13,709	1.1
	諸収入	102,664	114	102,778	8.4
	県 債	102,684	5,193	107,877	8.8
合 計	1,179,250	47,324	1,226,574	100.0	
出	議 会 費	2,120	0	2,120	0.2
	総 務 費	54,827	10,193	65,020	5.3
	民 生 費	142,038	5	142,043	11.5
	衛 生 費	154,728	21,494	176,222	14.4
	労 働 費	3,666	0	3,666	0.3
	農 林 水 産 業 費	30,195	2,379	32,574	2.6
	商 工 費	105,631	3,733	109,364	8.9
	土 木 費	103,719	8,115	111,834	9.1
	警 察 費	64,692	1,068	65,760	5.4
	教 育 費	188,160	337	188,498	15.4
	災 害 復 旧 費	28,174	0	28,174	2.3
	公 債 費	147,889	0	147,889	12.1
	諸 支 出 金	152,410	0	152,410	12.4
	予 備 費	1,000	0	1,000	0.1
	合 計	1,179,250	47,324	1,226,574	100.0

※ 百万円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

(参考1)

新型コロナウイルス感染症への対応

累計額 563,443百万円

(単位:百万円)

新型コロナウイルス感染症への対応	R3年度までの累計額	R4年度現計予算額	9月補正予算額	累計額
感染拡大防止対策	142,342	14,011	5,936	162,289
医療提供体制の確保	115,658	57,195	15,517	188,370
事業継続と雇用維持	137,628	36,313	0	173,940
その他	35,005	1,344	1,107	37,456
一般会計 計	430,633	108,863	22,559	562,055

国民健康保険事業費特別会計	438	0	0	438
港湾特別整備事業費特別会計	236	0	0	236
特別会計 計	674	0	0	674

病院事業会計	715	0	0	715
公営企業会計 計	715	0	0	715

合計	432,021	108,863	22,559	563,443
----	---------	---------	--------	---------

※ R3年度までの累計額は、R元年度決算額、R2年度決算額、R2年度繰越額(R2→R3)、R3年度最終予算額(予備費含む。)を合計した額。

※ 「一般会計 計」は、基金への積立を除く実質事業費。

※ 9月補正予算額のうち、「感染拡大防止対策」について、一部サミット関連事業における感染拡大防止対策分(41百万円)を含む。

※ 百万円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

(参考2)

平成30年7月豪雨災害に伴う被災者支援, 災害復旧・復興事業等

○ 創造的復興による新たな広島県づくり

累計額 435,888百万円

(単位:百万円)

創造的復興による 新たな広島県づくり 4つの柱	R3年度までの 累計額	R4年度 現計予算額	9月補正 予算額	累計額
安心を共に支え合う暮らしの創生	3,823	68	0	3,891
未来に挑戦する産業基盤の創生	49,571	3,391	0	52,962
将来に向けた強靱なインフラの創生	310,643	34,310	894	345,847
7月豪雨災害対応(被災地域等)	214,205	9,033	145	223,383
防災・減災対策	96,438	25,277	749	122,464
新たな防災対策を支える人の創生	849	351	0	1,200
その他(応急対策等)	5,245	7	0	5,252
一般会計 計	370,130	38,129	894	409,153
特別会計 計	7,753	0	0	7,753
公営企業会計 計	15,842	3,139	0	18,982
合 計	393,726	41,268	894	435,888

※ R3年度までの累計額は、H30年度決算額、R元年度決算額、R2年度決算額、R2年度繰越額及びR3年度最終予算額を合計した額。

※ 合計欄の数値は、会計間の繰入繰出を勘案していない単純合計。

※ 「その他(応急対策等)」「一般会計 計」及び「合計」は、「広島県平成30年7月豪雨災害復興基金」への積立を除く実質事業費。

※ 百万円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。